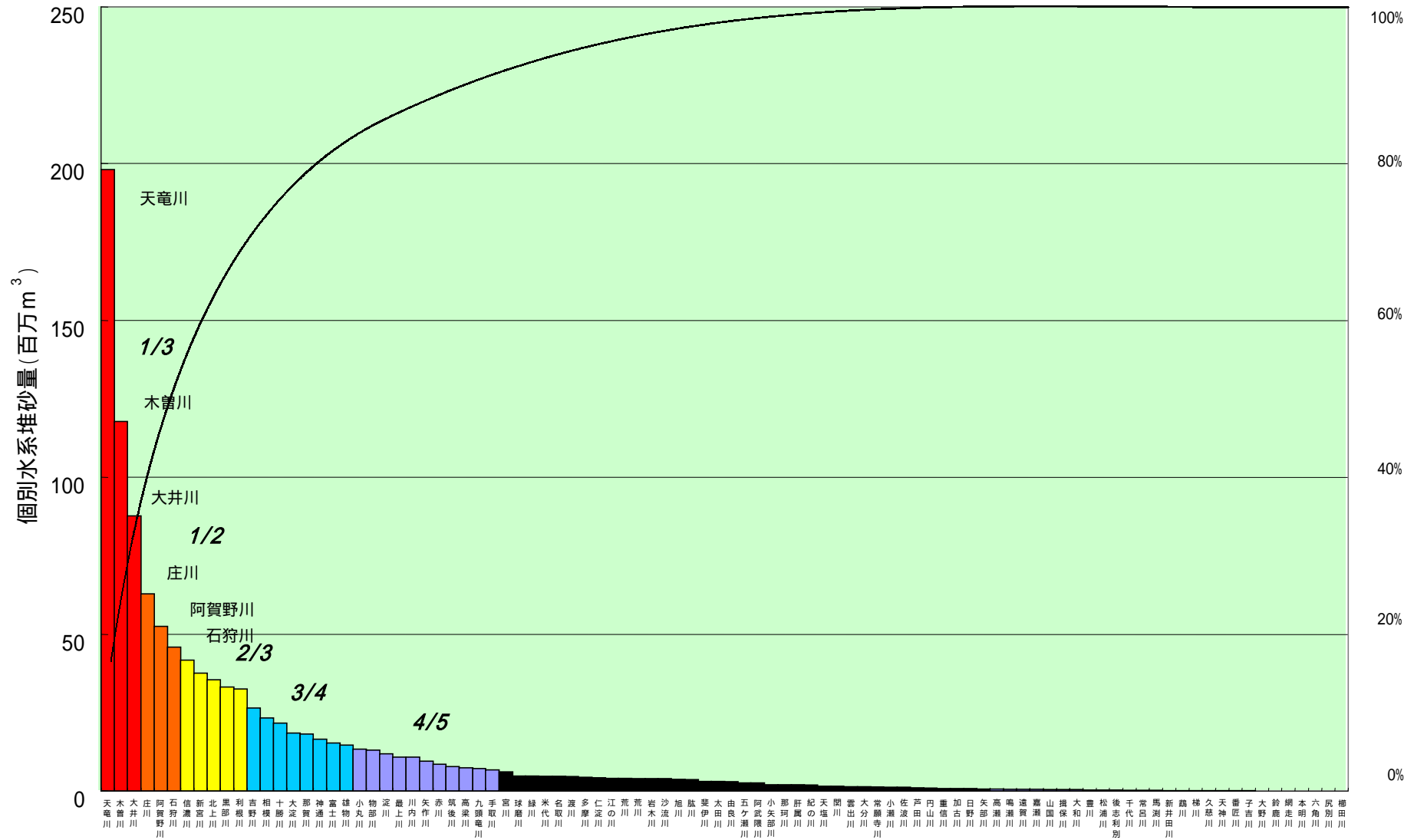


水系毎のダムの堆砂量

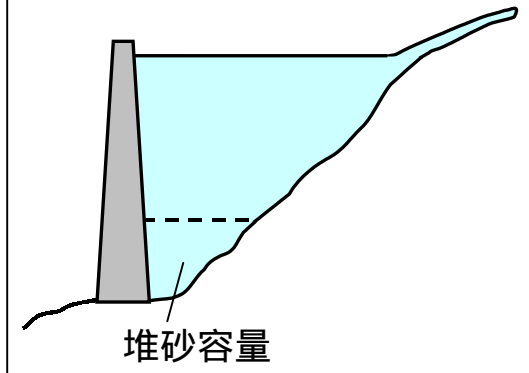
天竜川、木曽川、大井川の3水系の総堆砂量で、全国の一級水系の総堆砂量の3分の1を占める



容量百万m³以上のダム (利水ダムを含む)

ダム貯水池の堆砂に対し様々な対策を実施

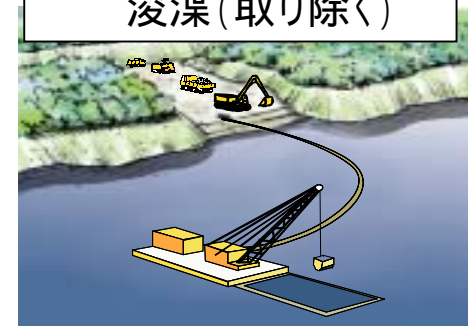
堆砂容量の確保



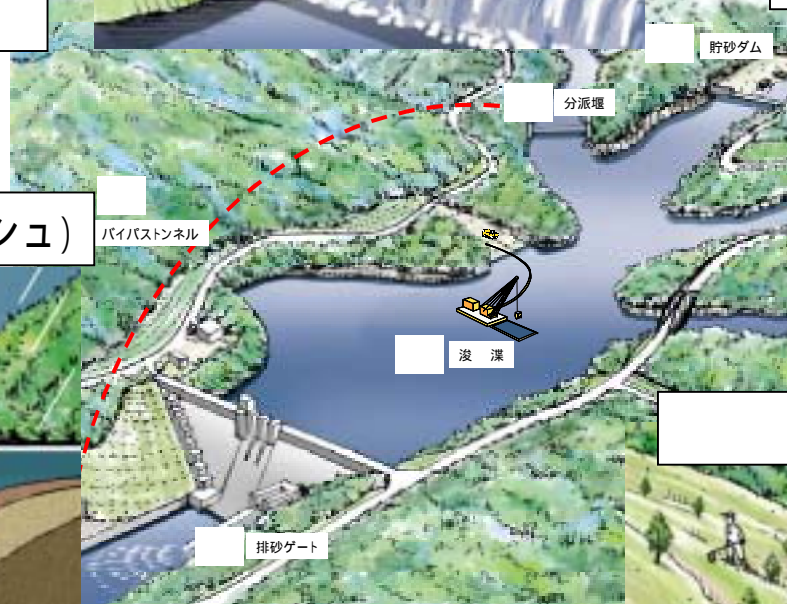
貯砂ダム(貯めて取る)



浚渫(取り除く)



バイパストンネル(下流へ流す)



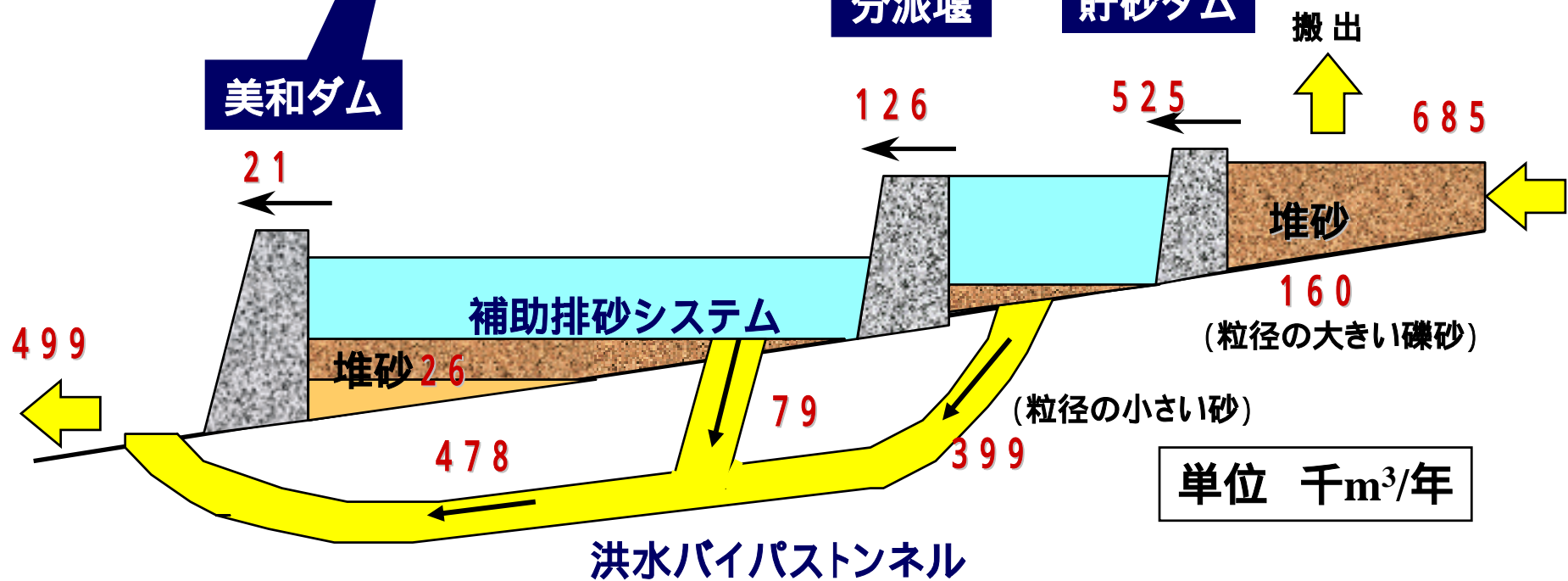
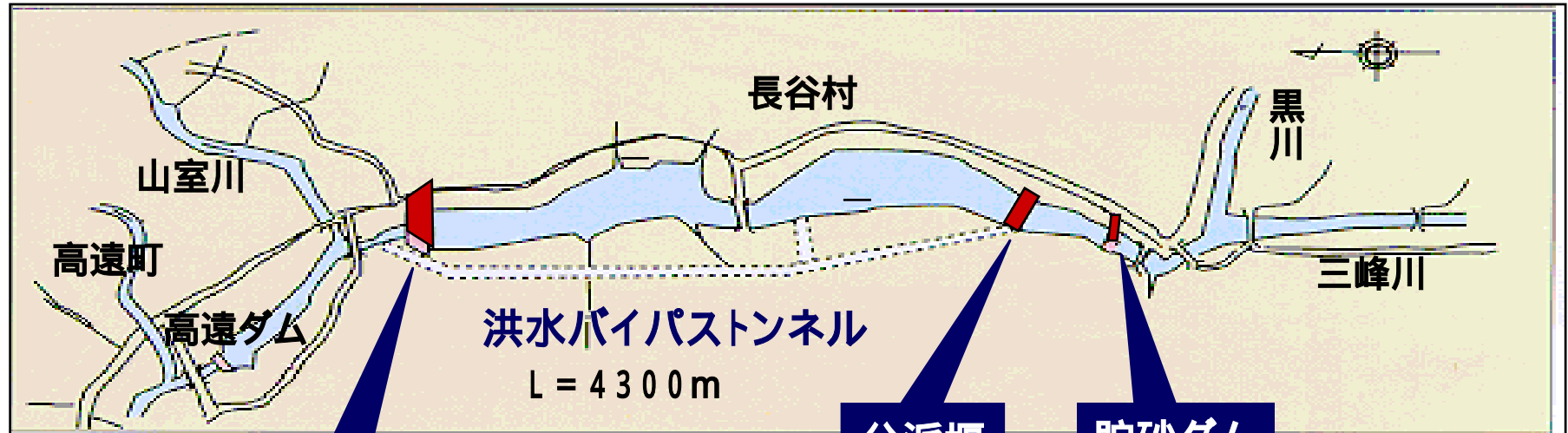
排砂ゲート(土砂フラッシュ)



植林



美和ダムにおける堆砂対策



ダム事業の長期化

(長期化の要因)

社会的な合意形成

地域住民の合意形成

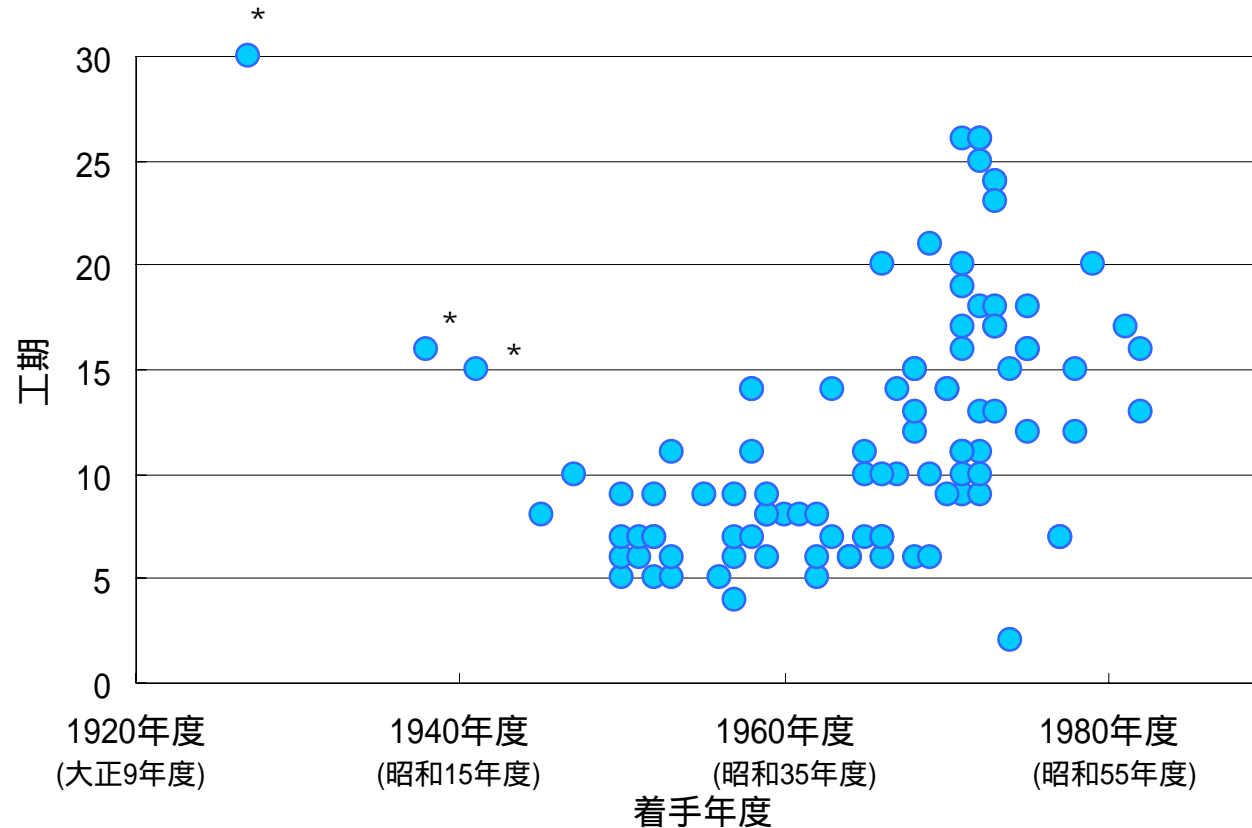
輻輳する利害調整

ダム建設適地の減少

調査・対策の充実

近年のダム建設の期間は長期化の傾向

ダム(直轄・公団)の工期



* 工期に戦時中の中断期間を含む

注1) 実施計画調査着手年度から竣工年度(建設費が計上された最終年度)までの期間を工期とした。

注2) 河川総合開発事業における竣工ダムのうち、直轄事業(特定多目的ダム建設事業、河川総合開発事業、水資源開発公団事業)のダムを対象とした。

ダム事業は、調査・補償交渉・用地買収・工事等の段階を経て実施

